

過去のほう賞（例）

市内に在住、在学又は在勤する18歳未満の青少年及び青少年グループで、概ね次のような行いのあった者が対象。

※18歳であっても、高校生は対象。

- ・親切な行い
- ・自主的な奉仕活動
- ・人に勇気を与える行い
- ・人命救助
- ・その他、上記に準じる行い（ただし、学校教育活動の一環と認められる場合は対象外）

特に顕著な行いに対しては「地域の子どもの幸せを考える秦野市民会議」にて、表彰をいたします。

【特別ほう賞】

No.	内 容
1	ヘアドネーションの経験のある兄と母の影響を受けて、「自分にもできるかな。」の思いで、幼稚園年少の頃から髪を伸ばし続けた。約3年間かかり、病気で苦しむ子どもたちのために、47cmの髪の毛を、NP0の団体を通じて寄附をした。
2	放課後、姉妹で遊んでいると、外国人のような若い女性がフラフラしながら歩いており、途中座り込んでしまったりしていた。しばらくすると、その女性が倒れたので、近寄って「大丈夫ですか。」と声をかけ、持っていたお金を使って公衆電話で119番通報をした。電話で状況を話したが上手く伝わらず、近くを通りかかった大人に電話を代わってもらい、状況説明をしてもらった。倒れている女性のそばで救急車の到着を待ち、無事に女性が運ばれるまで見守った。
3	国語の時間に海洋汚染を学んで、町の中からゴミが無くなれば、海洋汚染も防げるとの思いで、夏休みの20日間、午前7時半頃から1時間半程度自主的に自宅の尾尻から秦野駅周辺の約1.2キロを往復してゴミ拾いをしているとのこと。1日あたりスーパーの袋2個分のゴミを拾ったとのことだった。
4	部活動終了後の下校中に、建物の外壁の隙間から煙が出ているところを4名が発見。119番通報し、携帯をつないだまま、消防の指示を仰いだ。4名のうち2名は火事の状況を家主に伝えに行き、残りの2名は火事現場から近づかないように車や歩行者を誘導整理を行った。その結果、火災を最小限に食い止め、消防車の出動や消火作業がスムーズに行うことができた。
5	地域の親子を対象としたイベントに継続的に協力しており、青少年の健全な育成と地域の交流に大きく貢献してた。被推薦者（複数）の協力がなければイベントが成り立たないほど重要な存在であり、親子や地域の人々との温かなコミュニケーションを生み出した。

【普通ほう賞】

No.	内 容
1	近所で遊んでいたところ、高齢者の方達に秦野駅の場所を教えてほしいと尋ねられたため、教えた。
2	公民館の児童室を利用していた下級生が片付けをしないまま帰ってしまい、職員が片付けようとしたところ、3名の児童が気持ちよく手伝った。
3	登校中に学校周辺に落ちているゴミに気が付き、そのままにせず、1人で拾って周辺の美化に貢献した。こうした行動が数回あった。
4	1人で下校していたところ、同じクラスと同級生が転倒して、膝から出血しているのを発見した。発見場所の道路の反対側に地域の下校ボランティアの方がいたので、信号を渡り、助けを求めた。その後、下校ボランティアの方がケガをした子を学校の保健室まで連れ行った。
5	登校途中に公道を歩いている際に、大金（3万円）の入った財布を見つけ、そのまま交番に届けた。

青少年の健やかな成長を地域全体で支えるため、本運動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
日常におけるささいな事案であっても差し支えございませんので、積極的なご推薦をお待ちしております。